

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

第43回全国国際教育研究大会英語弁論大会岩手県代表選考会

第1位 佐々木陽彩〔普通科2年〕(江釣子中出身)



第43回全国国際教育研究大会英語弁論大会岩手県代表選考会で第1位に輝いた佐々木陽彩さん(普通科2年)(江釣子中出身)への賞状と表彰盾が、2月21日(火)阿部伸校長先生より授与されました。

表情豊かで自分が言いたい内容がしっかりと伝わってくる素晴らしいスピーチでした。発音の練習にもしっかりと取り組んだ様子がうかがえました。

【インタビュー】
障碍のある子どもとの交流からインスピレーションを受けた素晴らしい内容のスピーチでした。英語のリズムや抑揚も素晴らしかったです。1点マイナスしたのは、もう少し emotional などころがあっても良かったと思ったからです。これからの活躍に期待します。

"Excellent enthusiasm・you used your intonation, impressions, gestures, and facial expressions to give an engaging speech!

I am only left with one question・how can we overcome the filters and prejudices within us to become better people? Answering this will make your speech more persuasive, I think."

興味、関心を高める子どもに、国際感覚豊かな生徒の育成を目指す「こと」を目的に開催されています。

専大北上ニュース

専修大学北高等学校
Tel.0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌香
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

「部活動サミット2023 inいわて」参加者62名 静岡聖光学院中学・高校の主体的・時短の部活動の実践 「短時間部活から生まれる能力」について学ぶ

- ◆部活動サミット参加人数
- ▽硬式野球部 4人
- ▽軟式野球部 4人
- ▽男子サッカー部 2人
- ▽女子サッカー部 2人
- ▽男子バスケットボール部 3人
- ▽女子バスケットボール部 2人
- ▽男子バドミントン部 2人
- ▽女子バドミントン部 2人
- ▽男子バレーボール部 2人
- ▽女子バレーボール部 4人
- ▽ソフトテニス部 4人
- ▽陸上競技部 2人
- ▽柔道部 2人
- ▽剣道部 2人
- ▽女子卓球部 2人
- ▽吹奏楽部 4人
- ▽茶道部 2人
- ▽書道部 2人
- ▽美術部 2人
- ▽郷土芸能部 2人
- ▽総合探究部 1人
- ▽自動車部 2人
- ▽黒沢尻北高等学校 ラグビー部 3人



実践を発表する静岡聖光学院中学・高校の皆さん
挨拶をする阿部伸校長



阿部伸校長
硬式野球部会長の挨拶

2月20日(月)13時45分〜16時30分本校クリエーションホールで「短時間部活から生まれる能力」と題して部活動サミット2023 inいわてが開催されました。阿部伸校長先生から挨拶をいただき、アイスブレイク(テーブル毎に、名前・学年、部活、部活動での目標等)を発表し、コミュニケーションをとりやすい雰囲気作りから始まりまし



硬式野球部会長の挨拶

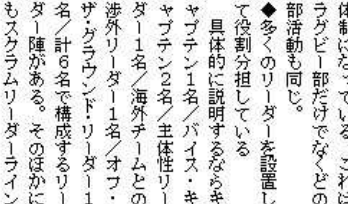
た。その後、静岡聖光学院中学・高校の主体的・時短の部活動の実践発表が、藤田武蔵さん(静岡聖光学院高校2年)、太田陽貴さん(静岡聖光学院中学2年)、崎山凌太郎さん(静岡聖光学院中学2年)3人から説明が行われ、その後各テーブルから質疑応答が行われました。



硬式野球部会長の挨拶

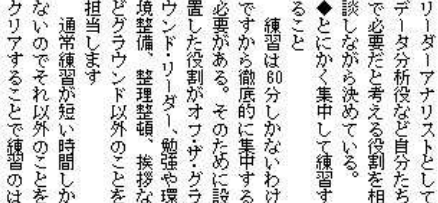


硬式野球部会長の挨拶



硬式野球部会長の挨拶

一度休憩をとり、専修大学北高等学校硬式野球部と黒沢尻北高等学校ラグビー部の実践発表が行われ、部活動のミッション・ビジョンと、それを達成するための取り組みを共有し、よい事例を自分の部活動へ反照させ、活動の質をさらに高めることができ



硬式野球部会長の挨拶

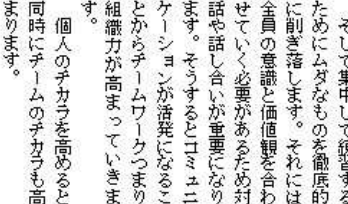


硬式野球部会長の挨拶

ました。今回の部活動サミットのルールとして①のことを大切にしました。①みんなが話しやすい雰囲気をつくる②考えたことは全てが正解。否定をしないで、たくさん意見を出し合う③自分と異なる考えも大切にすることを役割分担している



硬式野球部会長の挨拶



硬式野球部会長の挨拶

時間に限られているためどれだけ効率的に練習できるかを自ら考えるという点について結果今のようになっている。これはラグビー部だけでなく他の部活動も同じ。◆多くのリーダーを認



硬式野球部会長の挨拶



硬式野球部会長の挨拶

◆3S活動に取り組んでい「3S活動」で、整理・整頓・清掃を練習前に行うこと。そこからチームワークの組織力が高まっていきます。個人のチャカラを高めると同時にチームのチャカラも高

リーダーアナリストとしてデータ分析など自分たちが必要だと考える役割を相談しながら決めている。◆とにかく集中して練習すること
練習は60分しかないわけですから徹底的に集中する必要があります。そのために設置した役割がオフ・サブ・ケラウンドリーダー、勉強や環境整備、整理整頓、挨拶などケラウンド以外のことを担当します
通常練習が短い時間しかないでそれ以外のことをクリアすることで練習の質を高められるようにしています。

◆誰か必ず何かのリーダー「給水ボトルのリーダー」とか「ボールリーダー」とか詳細の一つひとつにリーダーを置いてみんなが何かのリーダーになるよう「一人一リーダー制」を決めています
それ自身が主体性をもってやらなければならない部活にしたい。
主体性を持つことでいろんなことに気づけるようになることになった。ラグビーという競技は小さなスペースを見つけて突破していくスポーツなのでいろんなことがブレインになる。

◆3S活動に取り組んでい「3S活動」で、整理・整頓・清掃を練習前に行うこと。そこからチームワークの組織力が高まっていきます。個人のチャカラを高めると同時にチームのチャカラも高

◆多くのリーダーを認

◆3S活動に取り組んでい「3S活動」で、整理・整頓・清掃を練習前に行うこと。そこからチームワークの組織力が高まっていきます。個人のチャカラを高めると同時にチームのチャカラも高

◆3S活動に取り組んでい「3S活動」で、整理・整頓・清掃を練習前に行うこと。そこからチームワークの組織力が高まっていきます。個人のチャカラを高めると同時にチームのチャカラも高

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel.0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

「笑い」と「感動」と「涙」の予餞会

2月14日(火)
さくらホール

6



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

「笑い」と「感動」と「涙」の予餞会

2月14日(火)
さくらホール

5



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌香
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

「笑い」と「感動」と「涙」の予餞会

2月14日(火)
さくらホール

4



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌香
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

「笑い」と「感動」と「涙」の予餞会

2月14日(火)
さくらホール

3



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

「笑い」と「感動」と「涙」の予餞会

2月14日(火)
さくらホール

2



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel.0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌香
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

「笑い」と「感動」と「涙」の予餞会

2月14日(火)
さくらホール

①



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

石巻専修大学(高大連携事業) 石巻専修大学理工学部機械工学科自動車コース川島純一教授 自動車科1年生対象に出前授業行われる

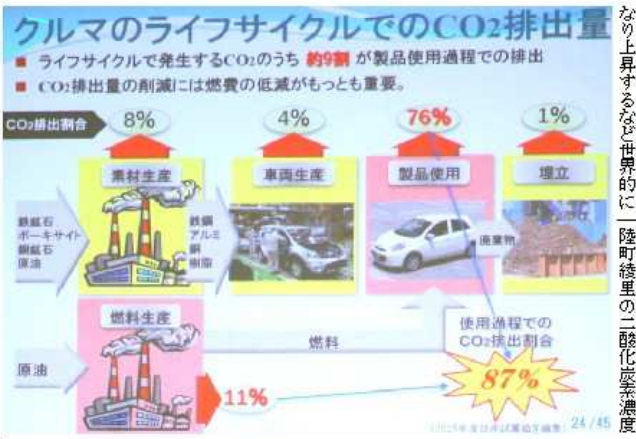


2月10日(金)石巻専修大学理工学部機械工学科の川島純一教授を講師にお招きし、令和4年度高大連携事業(出前授業)が自動車科1年生を対象に行われました。



「自動車の未来・エンジンの将来」 探究「日本・欧米における電気自動車の話題」

前半は、「自動車の未来・エンジンの将来」と題して講義をいただき、後半は探究活動として「日本・欧米における電気自動車の話題」のテーマのもと「ヨーロッパ(欧州自公)の動き」「アメリカ政府の動き」「日本政府の動き」「日産自動車」の動き、「トヨタの動き」等について、インターネットで調べそれぞれ発表していました。



2015年の大気汚染市三陸町後里の二酸化炭素濃度



異相気象が多く見られます。温暖化の原因の1つに地球内の「二酸化炭素」量の増加です。

◆温室効果ガスである二酸化炭素の排出によって、気候変動が生じている。
◆持続可能な社会にするために、自動車起源の二酸化炭素を90%以上削減しなければならぬ。
◆エンジン効率の向上(熱効率50%)、電動車両(ハイブリッド、電気自動車)の投入が進められている。
◆石油を使わず二酸化炭素が発生しない太陽光エネルギーの活用(電気、水素合成燃料)が車を駆動できる。

まとめ

(EV)、ハイブリッド自動車(HEV)、燃料電池自動車(FCEV)の開発が注目されています。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

就職・公務員希望者2年生69名を対象に 6企業のガイダンス行われる〔2/8(水)〕



キオクシア岩手(株)



岩手県建設業協会



キオクシア岩手(株) 本校OB・OG



ジャパンマテリアル(株)



TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社



(株)TERUI



(有)鈴木電設 本校OG



(有)鈴木電設

2月8日(水)2年生就職・公務員希望者69名を対象に企業ガイダンスが行われました。
2号館の講義室、会議室、4教室で、5グループに分かれ各企業から20分の説明を受け、5ブースを回る方式で実施され、北上・花巻の企業種の知識を深め、様々な進路や企業選定に活かすことを目的に行われました。本校卒業生からも仕事の様子等の説明を受け、働くイメージを膨らませることができました。

◆参加企業(順不同)
▽岩手県建設業協会
▽キオクシア岩手(株)
▽TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社
▽ジャパンマテリアル(株)
▽(株)TERUI
▽(有)鈴木電設
◆企業から主な説明内容
仕事内容/勤務形態/賃金/福利厚生(産休・育休)等/資格取得/入社してからで大丈夫、一度取得すれば一生の宝となる。
◆卒業生からのアドバイス
一般常識(挨拶、行動)を身に付けて下さい/年の差のある方と一緒に仕事を

するので、コミュニケーション(人との交流)を大切にしてください/仕事で活用するので英語やExcelを勉強しておくとうまくいきます/仕事・会社選びは求人票をよく見ることで就職指導の先生に相談してみてください/責任のある仕事をしていてやりがいを感じています。

Q企業は「面接」でどんなところを見るのですか?
A
①面接は「自分という人間を見せる場」さらには「自分を「社会人」になれるか」と試される場
②「面接はいつもの自分を見せるだけ」と軽く考える人もいるけれど、それは違います。面接官は、皆さんがどんな能力があるのか、皆さんが仕事を任ざられる人物かどうかを知りたいが、質問の1つひとつがそれを知るためのものだと常に意識しよう。面接を受ける皆さんは、面接官に「自分の中身を理解させる」ために、それ相応の言葉と態度を持って接する必要がある。それを必要最低限として、求められていることを理解した受け答えや言

企業が採用にあたって重視する主な能力

- ① 協調性・コミュニケーション能力 ●
- ② 基本的な生活態度・マナー ●
- ③ 職業人意識 (責任感や積極性) ●
- ④ 人柄 ●
- ⑤ 基礎学力・一般常識
- ⑥ 高校での部・生徒会活動
- ⑦ 資格・知識・技能

ここが主に面接で見られる!

話が出来なければならぬ。面接とはそういう「場」なのだ。理解しよう。
◎「面接」は一期一会(いちいちえい)の場です。
面接は短時間の間に、「動作」「表情」「言葉」全てを使って自分をアピールする場です。
面接は、限られた時間で企業へ自分をアピールするコミュニケーションの場。ワンチャンスの短い時間を最大限に使うために、今からしっかりと準備をしておこう。面接を受けるに当たって知っておきたい「常識」がいくつかある。
まず1つ目は動作。背筋を伸ばしてキビキビ動き、基本動作をきちんとこなせばいい。決して難しいことではないが、知らない人は【場】にふさわしくない態度をしてしまいがちなので注意。
2つ目は言葉遣い。とにかく丁寧な言葉遣いを心がけよう。敬語は種類が多く、使い分けも難しいので訓練が必要。最後は社会人としてあたりまえのマナーを守ること。試験日は遅刻をしない。えむを得ない理由で遅刻する場合は前もって連絡を入れる。会社の入社書類を揃えておくことも重要。今年就職試験が実施される9月まであと7カ月しかありません。しっかりと頑張らなう。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

令和4年度高大連携事業(出前授業)GB科1年生を対象に行われる 石巻専修大学 田村真介准教授

「出づるを制して入るを量る」

2月3日(金)石巻専修大学田村真介准教授を講師にお招きし、令和4年度高大連携事業(出前授業)がグローバルビジネス科1年生を対象に行われました。授業は「簿記ってどう役に立つの?身近な例から考えてみよう」のタイトルで、フィクションではありませんが、ミニゲーム形式で進められました。



2人1組がグループになり「宅配業の参入」を志すことから始まりました。会社名を決め、新規出店し、支払い家賃の取引、会社の業務用車両購入「車両運搬具の取引」、燃費「交通費の取引」、耐用年数5年で計算する「減価償却の仕分け」、株式購入の「有価証券の取引」、「営業収益の取引」等、これらを基に「損益計算書」に取引結果をまとめた。

簿記は日々の取引(お金のやり取り)を正確に管理し、日々の取引を簿記に記入することを任職といわれます。分かりやすく報告書にまとめる方法のことを指します。日々の取引を簿記に記入することを任職といわれます。

仕訳をもとに、貸借対照表や損益計算書といった財務諸表(報告書)が作成されます。なぜ貸借対照表や損益計算書を作成する必要があるのでしょうか。その理由は、①外部に報告するため「借入金はいくらあるか?」「資産と負債のバランスは良いか?」といった情報が必要になってきます。投資家や、銀行員の方々は財務諸表をチェックし、「借入はいくらあるのか?」「資産をどれくらい保有しているのか?」を確認し、意思決定に役立てています。



表にまとめることで、より詳しく、それがわかる「簿記」の役割と大切さなのです。

「簿記」の理解が深まりました。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

合同企業説明会「SENKITA未来エキスポ」開催 高校生に地域企業の事業内容や特徴を紹介し魅力を発信 商業科2年生72人を対象に行われる



「SENKITA未来エキスポ」に参加していただいた各企業の皆さん



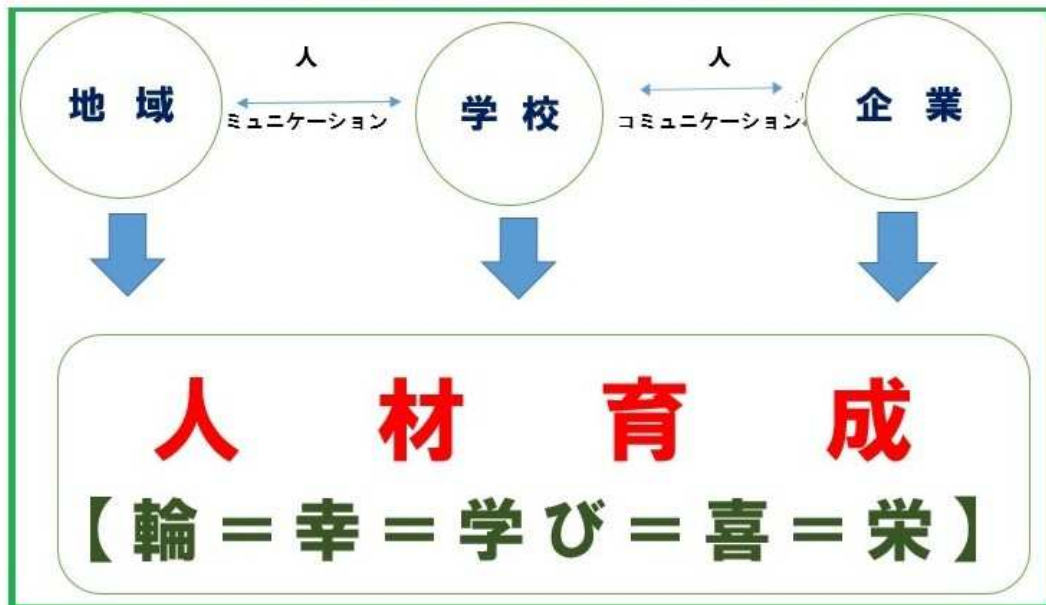
- ※参加企業(順不同)
- ◇北上信用金庫
- ◇株式会社小田島組
- ◇岩手酵素株式会社
- ◇株式会社中野商店
- ◇株式会社P・O・インベ
- ◇旭工業株式会社
- ◇(株)小彌太
- ※各企業の皆さんからいた

2月1日(水)地元企業の業務内容や経営方針など生の声を聴き、将来の進路の考察の一つにすることうな繁がりをもち仕事をしていくかを知るため、7社のご協力をいただき「SENKITA未来エキスポ」が開催されました。

生徒たちは3人から5人のグループで各ブースを回る形で行われ、各社は動画や画像などを使って自社の特徴や採用規程などについて説明していただきました。



「SENKITA未来エキスポ」の未来予想図



だいたアドバイス
▼「夢や「志」の種は「縁」から生まれる
▼「若さ」を「チカラ」に会社を盛り上げる
▼「女性」ならではの「視点」を活かし、より良いサービスを目指しています
▼「協調性」があり、みんなで助け合いながら仕事をしています
▼一人ひとりが主体性を持つ
▼「個性」豊かな「発想」と「柔軟」な考え方が必要
▼失敗を恐れずに、積極的に行動して欲しい

ち、考えながら仕事をしていきます
▼「個性」豊かな「発想」と「柔軟」な考え方が必要
▼失敗を恐れずに、積極的に行動して欲しい

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

石巻専修大学高大接続研究事業 58名に対し単位認定証書授与式本校で行われる 石巻専修大学入学生には「総合科目」の2単位が認定されます



2月2日(木)、専修大学北上高等学校クリエーションホールにおいて、石巻専修大学との高大連携協定に基づき単位認定型特別講義を受講した3年生58名に対し、単位認定証書授与式が行われました。



尾池守学長先生から代表者、千葉心さん(商業科3年)(錦井中出身)に認定証書が手渡されました。尾池守学長先生から「提出されたレポートは素晴らしい内容でした。今回の色々な講座を受講し「多様性」について学んでいただいたかと思えます。これから皆さんはそれぞれで大学で研鑽すると思えます。今回1年間頑張って取得



した単位認定を是非誇りに思ってください。皆さん4月から始まる大学生活で探究心を持って勉学に励んで下さい。今後の頑張りを期待しています」と激励の言葉もいただきました。

受講生を代表して普通科の洪川葵さん(北上中出身)は「今日は、私達のためにもこのように式を開催していただき、誠にありがとうございます。また、石巻専修大学学長の尾池守先生や人間学部人間教育学科特任教授横江信一先生、阿部伸校長先生からの言葉をいただき、改めて身が引き締まる思いです。私は、この1年間受講し、様々な学科での知識を学ぶことができた。日常生活をテーマにしていくことも多く、自分の身になる講義がたくさんありました。石巻専修大学

あり視野を広めることができました。私は4月に石巻専修大学人間学部人間教育学科に入學します。高校での学びをさらに深めていきたいと考えております。また、私だけではなく、今日この単位認定していただいた委員が、この1年間で学んだことを次の進路で活かしていきたいと思っております。この1年間、私達のためにも尽力下さった石巻専修大学の先生方、事務課の皆様、高校の校長先生、進路指導部の先生、担任の先生に改めて感謝します。今日はありがとうございました。ご挨拶を述べました。

なお、石巻専修大学へ進学する生徒には、入学後に「総合科目」の2単位が認定されます。石巻専修大学



と専修大学北上高等学校は、相互連携・交流を深めながら魅力ある教育の実現を目的に、平成21年12月に高大連携に関する協定を締結しています。